**5月10日　(株)デジサーチ・アンド・アドバタイジング　代表取締役　黒越誠治 氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

資本金１円からでも仕事が始められるのは、それでも成功する企業が出てきたからだということと、お金の力がそれによって弱くなってきているということに驚きました。３Dプリンタなど次世代の物を使いながらより産業が効率良くなってきているといことに自分が就職するときにはそのような次世代の新たな武器が出てくるのではないかとワクワクしています。未来型の仕事で活躍するためには外部からの評価が必要だということは当たり前かもしれないですが、とても重要なことだと思いました。楽しいことを仕事にすることが大切というのはとても印象に残りました。(教育人間・学校教育4年)

当事者意識を持つために、救急医療のように全員が物事にあたるというのは、考え方の工夫の一つであり、人の力を高めていける素晴らしい取り組みだと思ったので、業務の中で取り入れていきたいと思いました。今は、『お金の力が弱くなってきている』という言葉は、これまでに聞いたことも考えたこともなく、衝撃的でした。確かにアイデアの重要性が日に日に増大しているので、考える力を磨いて実行力を高めていくことが大切だと思いました。大学時代には体感することがいいということは日々そう思っていながらも実行できていないので、何か一つは今月中に体感しようと思いました。（経営・経営３年）

「分業しない」というポリシーがあまり聞かないもので新鮮だし、仕事としてすごくおもしろそうだと感じました。私は高校のときに生徒会本部役員をやっていてその時も一から行事を考えて、いろんな人と関わって、行事を成功させるために動いていて、それにすごくやりがいを感じていました。今まで、時代の変遷をあまり意識したことがなかったので、お金の力が弱まり、アイデアが重要になったことや、1万人分の仕事ができるという時代に生きているということを聞いて、衝撃を受けたし、もっと世界を見ることが必要だと感じたとともに、本当に可能性が無限大な世界にいるのだなと実感しました。ただ、時代の流れの変化が速いから、時代を読むということはすごく大切なのだと思いました。

（経営学部・経営学科・1年）

「日本の大学の時間は何をやるかしっかり考えられる時間」という言葉が印象に残り、自分もこの大学生活をただ過ごすのではなくよく考えながら過ごしていきたいなと思いました。また様々なことに取り組む時に、当事者意識を持つことがとても大切だと学ぶことができました。「時代をよみながら仕事をするのが大事」という言葉もとても印象に残りました。インターネットが進化し続ける現状で、能力に差が付きやすくなっているがポテンシャルを発揮しやすくなっているという言葉を聞き、今後職について考える時、自分のやりたいこと、得意なこと、好きなことをできるようにしたいと思いました。学生のうちだからこそできることを大学生活でしたいと思います。「思ったことができるようになってきていて、それをするツールが増えてきている」という言葉もとても印象に残り、アイデアが重要になっていくのだなと感じました。(経済学部経済システム学科1年)

起業をするために銀行に融資を求めたが断られた高校生や、8か月で老舗の企業を再生させた大学生、インドでテントを売ろうと考えたがテントを逆さ向きにして水不足を解消しようとした大学生がいるという話を聞いて、すごい人がいると思ったのと同時に、実は自分たちにもそう遠い存在ではないのではないかと実感した。（経営学部・経営学科1年）

社会人と学生の思考、行動基準の大きな違いは「お金」だと思っていた。学生はお金も時間も消費し、社会人はお金、時間に利益を生み出すことを考えている点が違うと考えていたが、学生でも起業をし、利益を生み出し、社会に貢献している人が多くなってきていることを知り、働き方、お金のとらえ方が変わってきていることがわかりやすく、大変いい講義でした。一番印象に残ったことは、これからの働き方は「脳みそを増強して、安いシステム、使いやすい仕組みを作って1人が１万人分の仕事ができる時代」というメッセージ。たまに頭に浮かぶ小さいアイデアのメモ書きを続けて、大切にして、磨いて、1つでも実現できるように日々過ごしたい。（経営学部・夜間主・２年）

ITの爆発的な影響力が資金集め、製造、マーケティングのみならず、働き方、お金の価値、組織のあり方を大きく変えつつあることがよく理解できました。時代は大きく変化し、「未来型の仕事」のあり方に対して希望を感じることができました。現在は働くことに対して暗いイメージがあり、「ブラック企業」、「過労」、「うつ病」、「成果主義による疲弊感」など閉塞感が漂っています。しかし、本日の講義では、個人のアイデアややる気、やりたいことを生かして能動的に働くことが可能であることを実際にそのことを可能にされた黒田さんの話を拝聴できた、非常に貴重な体験となりました。自分の個性を生かした働き方や自らの満足感や外部評価が労働の報酬対価となる働き方が広がれば、世の中をよりよく変えていけるのではと思いました。（経営学部・経営学科・４年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

「決断と判断の違い」というのが自分の中で新しかった。今は判断することで自分の行動を狭めてしまっている気がした。もっと自分のやりたいことのために決断し、行動したいなと思った。就職のためでなく、自分の好きなことのために資格を取ってみたりすることが今自分のできることだと思う。(理工学部化学生命系学科2年)

目立てばいろんな人が寄ってくるという言葉が心に響きました。大学に入ってから考え方が変わって自分のやりたいことがブレてしまっているけど、それが悪いことでなくて、これから色々挑戦してみようと思いました。(経営学部・経営学科・１年)

「好きじゃないものにはポテンシャルは開花しない」とおっしゃっていたので、自分の好きなことや向いていることを大学生の間にいろいろなことに挑戦しつつ見つけていきたいと思いました。そして、時代の流れを読みながら「今必要なこと」を考慮に入れて自分の力を発揮していきたい。（経済学部　経済システム科学科1年）

「体感すること」、「決断と判断の違い」、「行動することによる周囲の変化」、「自分のしたい事とは」の４つを念頭におきながら、まずいろいろな事を体験してみて、何かをやってみようという決断をして、新しい事にチャレンジした時の周囲の評価の変化を感じ取って、時間のあるときに自分のしたい事をじっくり考えてみたいと思いました。（経営学部・会計情報学科・１年）

**授業スタッフの感想**

　黒越さんご本人も言っていましたが、上田さんとはまた違った授業でした。授業の中で学ぶことも多いのですが、私たちスタッフの特権である授業前後のお話でもためになることをたくさん聞けました。今回は空き家のお話が特に突っ込んで聞けたのではないかと思います。授業後に実際空き家があるとお話に来て連絡先を交換したというお話を聞いたときは驚きました。こういった一つのつながりが事業の発展などに結びついていくのだなと経験できたのはすごくよかったです。空き家の問題も深刻なものなのにあまり広まってはいません。私自身もそこまで大変な問題というイメージはもっていませんでした。そういった面では毎週自分の中で新しい発見があります。この授業を受講することができて、また授業スタッフに参加することができてよかったと毎回思います。このような素敵な関係・時間をもっと質の良いものにしていけるように頑張りたいと改めて思いました。

分業しない仕事スタイルに衝撃を受けている人が多い。また、社会が変わるのだから、仕事に求められることや労働スタイルが変化することを理解はできても、受け入れることができない人もいる。私自身も年功序列がなくなっていくことを手放しでよいこととは思えないし、サラリーマンが全く悪いとも思えない。黒越さんのお話はすごく先を見据えているのは分かったが、少し先の自分の就職、人生といった話となると別の見方もできると思えてしまった。でも、今まで自分が持っていなかった考えに触れることができたとても貴重な講演だった。